

がん専門相談員のための ルーブリック基本評価票

2024 年版

目次

1. がん専門相談員のためのルーブリック基本評価票とは	p1
2. 活用方法	p2
3. ルーブリックを活用することで得られる効果	p4
4. 活用における留意点	p4
5. がん専門相談員のためのルーブリック基本評価票 2026 年版	p5

厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業

「がん相談支援の質の確保及び持続可能な体制の構築に資する研究（23EA1025）」

研究代表者：静岡社会健康医学大学院大学 高山智子

研究分担者：北里大学病院 近藤まゆみ

厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業

「がん患者・家族が、適時に、適切な情報・相談支援・アピアランスケアにアクセスできる
体制構築に関する研究（26EA1201）」

研究代表者：国立がん研究センターがん対策研究所 八巻知香子

研究分担者：静岡社会健康医学大学院大学 高山智子

研究協力者：北里大学病院 近藤まゆみ

1. がん専門相談員学習ルーブリック基本評価票とは

1) はじめに

がん専門相談員は、多様化・複雑化する相談に対応するために、幅広い知識や相談スキルが求められている。がん専門相談員が能力を維持向上していくためには、求められる知識やスキルを理解し、自己を振り返りながら、日常の実践の中にある個人的・組織的な学習や振り返りが大切である。「がん専門相談員のためのルーブリック基本評価票(以下「ルーブリック」という)」は、がん専門相談員に必要な知識やスキル全体の可視化と個々人の到達度を把握することを目的とし、がん専門相談員の能力の向上において活用できる資料として作成した。一人ひとりのがん専門相談員の成長と、より良いがん相談の実践を目指し活用していただければ幸いである。

2) ルーブリックとは

ルーブリックは、小・中・高等学校、大学・大学院教育において広く用いられている。学習や成績評価の具体化、透明化に活用され、学習や教育成果の把握と可視化を重視している。本ルーブリックではこれらの特徴を用いて、がん専門相談員に求められる能力や学習課題を段階的に示すことを試みた。9つのがん専門相談員の学習課題と、それぞれの評価観点をレベル1～5の5段階で示したマトリックスで構成している。

3) ルーブリックの構造

ルーブリックの構造を次に示す。

がん専門相談員が獲得したい能力や技能		学習課題がどの程度達成されたか判定するための評価の区分 レベル1～5がある			
学習課題					
評価尺度	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
評価観点	評価基準	評価基準	評価基準	評価基準	評価基準
学習課題として求める具体的なスキルやコンピテンシーの論点		それぞれの評価観点における評価尺度に応じた学習者の行動や態度、典型的なパフォーマンスの特徴を記述して説明			

4) がん専門相談員の学習課題

がん専門相談員が獲得したい能力や技能（学習課題）は、次の9つである。

- ① がん対策、がん診療における相談支援の役割について知り、発展的に役割を担う
- ② 相談方法・ツール(対面、電話、オンライン等)の違いによる相談対応の特徴を踏まえて対応する
- ③ 想いを受け止め対応する(態度、姿勢、スキル)
- ④ 困りごとの本質を共に考え、共有する
- ⑤ 患者・家族・医療者の関係の強化や改善のために働きかける

- ⑥ 信頼できる情報を見極め、相談者に合わせた情報支援を行う
- ⑦ 相談者のその人らしい意思決定を支援する
- ⑧ 相談対応の質を担保し、相談対応力の向上に努める
- ⑨ 相談員のストレス・マネジメントを行う

5) 評価尺度(レベル 1～5)が示すがん専門相談員としての時期、対応内容

評価尺度(レベル 1～5)が示すがん専門相談員としての標準的な時期と対応内容を次に示す。

評価尺度	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5
相談員としての 時期と対応 内容 (目安)	相談対応を はじめる時期	基礎研修(3)の 修了時期 多くは基礎研 修(3)の学習目 標	基礎研修(3)修 了後、実臨床 に戻って目指 す	さらに発展的 な視点をもっ て目指す	さらに教育的、 発展的、組織的 な対応につな げることを目 指す
	要素を知る	基本姿勢を理 解し、実際に アクション・ 行動がとれる	人の言動や関 係性を適切に 捉え具体的に 対応する	人の言動や関 係性の背景に ある見えにく い要素までも 捉え対応する 例:予後予測、リ スク、価値観等	複雑性や困難 性の高い状況 を的確に捉え 対応する

2. 活用方法

1) がん専門相談員に求められる能力やスキルを理解する資料として活用する

ループリックの内容を知ること、がん専門相談員に必要な能力を意識化し、共通理解を促進することができる。また、がん専門相談員に必要な能力・スキルセットとして、センター内教育や人員配置の参考資料として提示することができる。

例)・新しく配置されたがん専門相談員が参考にする資料

- ・がん相談の実践に悩んだときに参考にする資料
- ・組織が人員配置を考えるうえで参考にする資料

2) 自己の実践の振り返りに活用する

自己評価を行うことで自分の強み、弱みを理解し、自分の現状や目指す姿を考えることができる。また、自己評価の体験を複数人で共有することで、適切なフィードバックを得ることができる。

例)・自己をみつめるリフレクションの機会にする

- ・個人の目標管理や今後の学習計画を考える機会にする
- ・事例や相談対応を振り返る場面で活用する
- ・ループリックを用いた研修会を開催し、自己評価の体験を共有する

3) スタッフ育成に活用する

スタッフへの教育指導の場面で、共通の指標を用いて成長段階を説明するなど、現状と今後の目標を具体的に示すツールとして活用できる。また、ルーブリックを用いて事例を紐解くことで、実践の言語化や演繹的な意味づけを行うことができる。

例)・OJTにおけるスタッフ教育を行う場面で活用する

- ・実践の振り返りや部署内のミーティングで日頃から活用する
- ・複数名で事例検討を行う機会に活用する
- ・ベテランがん専門相談員の実践事例を紐解く場面で活用する

4) 組織の目標管理に活用する

組織(部署)の強みや弱みを分析し、スタッフの育成や成長を意図した組織(部署)全体の目標管理に活用できる。

例)・年度目標の立案に活用する

5) 研修の企画や評価に活用する

各種研修の企画運営において、相談員としての経験やニーズなど、研修対象者の特徴に応じて、研修目標、強化したい能力、研修のゴール設定を明確化する際に活用できる。また、その研修が「どのレベルをめざしたものか」を明示することで、受講のしやすさや動機付けの促進につながる可能性がある。

例)・都道府県のがん相談研修の企画において活用する

※自己評価とは

自己評価とは、自己学習において学習者が自分自身を振り返り、その結果を以降の学習に生かしていくことです。自己学習の文脈では、自己の理解状況を把握したり、課題を遂行した後にその達成状況を確認したりする意味で用いられます。また、心理学においては学習に限らず、自己の精神状態や自分をどのような人間だと捉えているかを把握する際にも用いられます。自己評価は効果的かつ主体的な学習を進めるうえで欠かせないものであり、学習へのフィードバックとしての大きな効果が期待できます。

(東京大学大学院教育学研究科資料より一部改変)

3. ルーブリックを活用することで得られる効果

これまでのルーブリックの活用経験から収集された効果を次に示す。

- がん専門相談員の能力向上に向けた道筋を理解し、求められる能力を意識化できる
- 自分自身や組織の強みや弱み、課題を確認・共有できる
- 目標を明確にし、自己の課題や組織の課題に取り組むことができる
- もやもやと悩んでいることを客観視し、具体的な行動レベルで自己の対応を振り返ることができる
- 職種や経験が異なっても、同じ視点で話し合うことができる
- 能力開発の一助となる
- 相談支援の質向上や、対応の統一を目指すことができる
- がんに限らず、その他の相談においても共通して活用できる内容である 等

4. 活用における留意点

- 1) ルーブリックは、知識レベルや単純な業務習熟度をチェックするものではなく、相談対応を行ううえで求められる質的な内容を示したものである。「評価する/される」ことを目的とするのではなく、がん専門相談員の能力開発に活用するものであることを意識し、効果的な活用につなげていく。評価は手段であり、ルーブリック活用の目的は気づきを促進することである。
- 2) 活用・評価のタイミングによっては、同じ項目であっても評価が高くなる場合も低くなる場合もあり、その人の心身の状況に左右されるという特徴がある。活用においては、自分がなぜそのように評価したのか、その理由を考え、自己の現状や課題に気づくことが大切である。また、それを他者とディスカッションすることで、さらに深い気づきにつなげることが期待される。
- 3) 他者との共有やピアレビューなどに活用する際は、サポートティブな雰囲気と心理的安全性が確保された風土が大切である。その人の弱い部分に触れる可能性があることに配慮し、承認のためのポジティブな活用を心がける。
- 4) 対象者の特性、課題、ニーズや時間的制約などを考慮し、TPO に応じてルーブリックを部分的に活用することも可能である。
- 5) 本ルーブリックは、がん専門相談員に求められる能力や学習課題を段階的に示した基本的なツールである。活用にあたっては、施設や職種の特徴に合わせて変更して使用することも可能である。その場合は、変更した旨を明示して使用していただきたい。
- 6) ルーブリックは、見る人によって様々な意見が出る可能性がある。今後も表現やレベル設定などについて検討を重ねる必要がある。また、がん専門相談員に求められる能力や学習課題は、時代の変化によって変わる可能性があるため、本ルーブリックの内容も変わることが予想される。これらの点も踏まえご活用いただきたい。

以上

作成：2025 年 12 月 4 日

更新：2026 年 6 月 6 日